

早稲田大学アジア太平洋研究科・松岡研究室

2018 年夏合宿

報告書(第 7 号)



鴨川セミナーハウスにて(2018 年 7 月 22 日)

早稲田大学国際学術院・大学院アジア太平洋研究科
松岡研究室

幹事長 宋 帥虎(修士 1 年)

2018 年 7 月 31 日

1. 合宿日程

2018年7月21日(土)～2018年7月22日(日)

2. 合宿先

早稲田大学鴨川セミナーハウス

所在地：〒299-2862 千葉県鴨川市太海 1619-1

電話：0470-99-0845 FAX:0470-99-0846

3. 目的

- ・修士論文発表会(論文提出予定の修士課程学生4名)
- ・ゼミ生間の交流促進
- ・松岡研究室が実施している研究プロジェクトの紹介
- ・松岡研究室の研究プロジェクトに関わっている博士課程学生の研究紹介
- ・博士課程の学生による研究計画発表

4. スケジュール

2018年7月21日(土)

時間	内容
11:30	早稲田大学19号館前でバスに乗車
14:00	早稲田大学鴨川セミナーハウスに到着
14:30-17:50	<u>ジョイントセミナー</u> - 修士論文の発表・コメント
18:00-20:00	バーベキュー

2018年7月22日(日)

時間	内容
7:30-8:30	朝食
9:00-12:00	<u>ジョイントセミナー</u> - 松岡研究室が実施している研究プロジェクトの紹介 - 松岡研究室の研究プロジェクトに関わっている博士課程学生の研究紹介 - 博士課程の学生による研究計画発表
12:00-13:00	昼食
13:20	バス(千葉県鴨川市大山千枚田行き)に乗車
14:00	千葉県鴨川市大山千枚田見学
14:30	バス(早稲田大学行き)に乗車
17:00	早稲田大学19号館前に到着、解散

5. 参加者

修士 19 名、博士 5 名、引率・松岡教授の計 25 名が参加した。

表 1 参加者一覧

修士 1 期生	ZHENG Yuxiao
	KANG Junpei
	Hola Malia I Lutu Carmel Fonokimoana
修士 2 期生	SONG Shuaihu
	MAEHARA Muryo
	XIAO Yao
	LIU Wendi
	XI Yunqi
	PELMO Sonam
修士 3 期生	ZHOU Liwei
	OLAD SUELIMAN Abdirahman
	YAN Yan
	CHEN Duoduo
	JIANG Xue
	AOUINIYA Fatine
修士 4 期生	YAO ZIWEN
	AN Juanni
	Fan Ziyang
	CUA Sy Kathleen Charmaine
博士課程 1 年生	ZHU Yu
	HERI Istanto
博士課程 2 年生	FIRMAN Tatariyanto
	YAMADA Mika
	CHOI Yunhee

6. 合宿参加者 1 人当たり費用

表 2 費用

項目	金額
バス代	6,560 円
バーベキュー	1,620 円
朝食	648 円
昼食	756 円
宿泊費	2,160 円
その他	256 円
合計	12,000 円

7. 合宿の概要

合宿初日には、早稲田大学鴨川セミナーハウスのセミナールームで、修士課程修了予定学生 4 名による修士論文の報告が行われた。翌日には、博士課程学生 5 名による研究プロジェクトおよびそれぞれの研究計画の発表が行われた。また、修士課程学生 1 名による研究計画発表も行われた。

7.1 修士論文の報告

(1) FAN Ziyan

“Research on Householders’ Participation and Environmental Awareness in Chinese Rural Toilet Revolution”

(2) CUA Sy Kathleen Charmaine

“Social Capital and Evacuation Behavior in the Philippines: A Case Study of Typhoon Haiyan”

(3) YAO Ziwen

「リスク認知における福島放射線の不安問題とリスク・コミュニケーションに関する研究」

(4) AN Juanni

「カーシェアリングの選択行動の規定因分析」

7.2 松岡研究室が実施している研究プロジェクトの紹介

(1) CHOI Yunhee

“Social Acceptance of High-Level Radioactive Waste (HLW) Treatment and Disposal Facilities”

(2) YAMADA Mika

「早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事業」

7.3 博士課程学生による研究計画発表

(1) FIRMAN Tatariyanto

“Controlling Environmental Harm: Assessing Criminal Law Enforcement on Haze Pollution Using Content Analysis of Court Decisions in Indonesia”

(2) HERI Istanto

“Household-Level Recovery after Floods in Indonesia: Investigating the Role of Savings, Borrowing, Social Network, External Assistance and Social Safety Net Program”

(3) ZHU Yu

「日本自治体における地域地産地消型エネルギーシステムの展開：長野県を事例に」

7.4 修士課程学生による研究計画発表 (1 名)

MAEHARA Muryo

About nuclear waste management in Sweden



千葉県鴨川大山千枚田にて(2018年7月22日)

8. おわりに

早稲田大学鴨川セミナーハウスで快適な合宿を送ることができ、ここにセミナーハウスの職員の皆様にお礼を申し上げます。大半が留学生である松岡ゼミの学生には、セミナーハウスで日本の合宿文化を体験し、大山千枚田で美しい千枚田を楽しむことができ、忘れがたい2日間を過ごした。

修士課程学生の修論発表と博士課程学生の研究プロジェクト発表は、活発な議論を起こし、ゼミの皆さんに貴重な勉強機会を提供した。また、終了を控えている修士学生4名においては、最後の修士論文の学位審査のディフェンス前に、質疑応答の機会、コメントが得られる貴重な機会となったと考えられる。さらに、合宿を通じてゼミの皆さんが親しい関係を築き、友情を深めていた。最後に、ゼミのマネージメントに協力していただいたゼミ生の皆さんにお礼を申し上げたい。

記録：宋 帥虎 (2018年春学期・Mゼミ幹事、ゼミ幹事長)

CHOI Yunhee (2018年春学期・Dゼミ幹事)